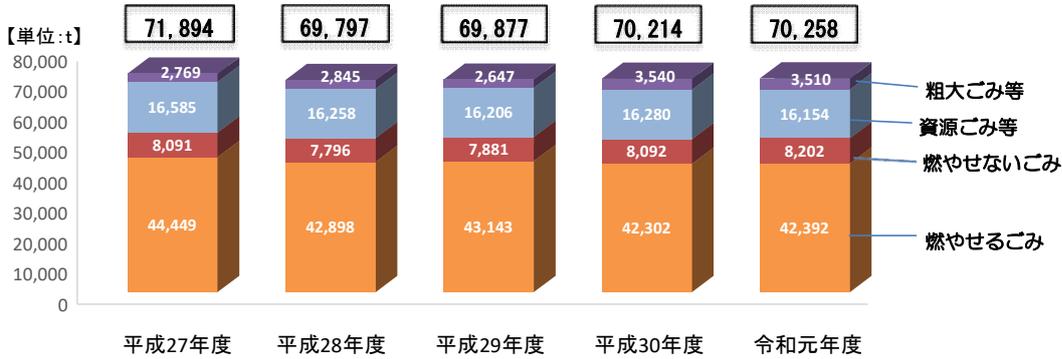


旭川市のごみ処理の現状

ごみの増減

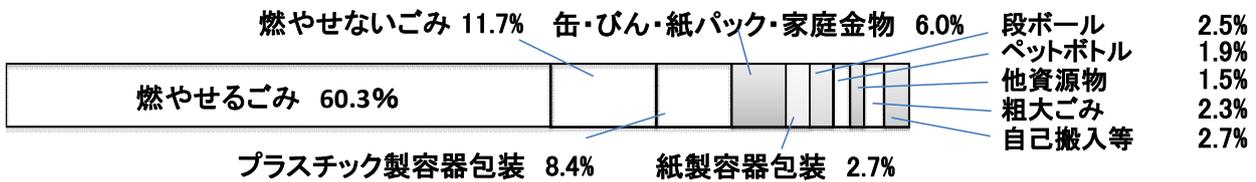
令和元年度のごみ排出量は、平成30年度と比べて、大きな変化はありませんでした。ごみの減量・資源化のため、資源ごみの分別を徹底するなど、引き続き市民の皆様の御協力をお願いします。

過去5年間の家庭ごみの排出量



ごみの内訳

令和元年度に旭川市内で排出された家庭ごみは70,258トン（下図：家庭ごみの内訳）



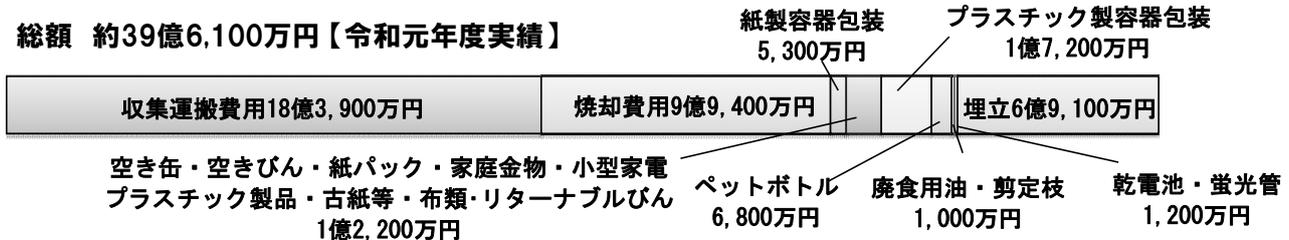
※ 他資源物内訳は、【乾電池・蛍光管・剪定枝・廃食用油・布類・小型家電・再生可能な古紙・金属類・リターナブルびん・プラスチック製品・傘・木質素材】です。

旭川市のごみ処理費用とごみに関する収入

ごみ処理費用

※処理費用には、業務委託、施設等の減価償却費、職員の人件費などを含みます。

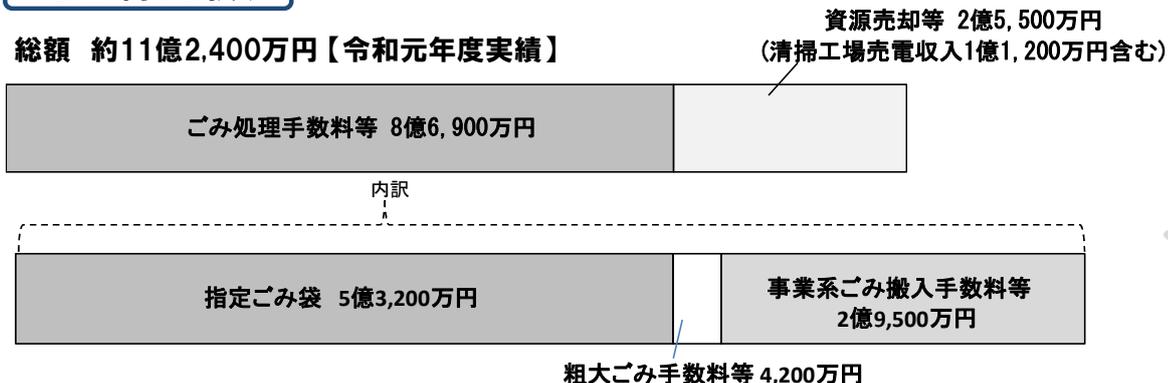
総額 約39億6,100万円【令和元年度実績】



令和元年度のごみ処理費用の総額は、約39億6,100万円であり、平成30年度（約41億2,700万円）との比較では、1億6,600万円の減額となりました。ごみ処理費用を市民1人当たりで換算すると、年間で11,834円となります。

ごみに関する収入

総額 約11億2,400万円【令和元年度実績】



令和元年度のごみに関する収入は、ごみ処理費用の約3割になります。これらの収入は、ごみ処理費用にかかる貴重な財源として活用しています。